

計画の推進体制

評価と検証のために、計画全体の「目標値」と合わせて、アクションプランごとに効果を検証するための数値目標を設定し、数値を年度ごとに確認することで、次年度以降の取組み内容の見直しや目標値の検討を実施します。

現在、観光庁が推進する持続可能な観光の視点からも、地域がメリットを実感できるよう総合的な取組みの重要性が強調されており、本計画では、これらの視点を取り入れ、多様な関係者同士の連携や市全体として取り組むべき仕組みづくりを推進します。

目標値

目標値：アンケート調査により基準値（現状値）を設定後、目標値を定める／令和3年度以前の数値は実績値を表記

① 旅行支出額

単位：円

項 目	令和元年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
日本人観光消費額	—	39億	98億	100億	105億	105億	106億
消費額(1人当たり)	—	25,560	26,000	26,500	27,000	27,500	28,000
訪日外国人観光消費額	53億	—	8億	30億	56億	78億	97億
消費額(1人当たり)	41,027	—	42,000	42,500	43,000	43,500	44,000

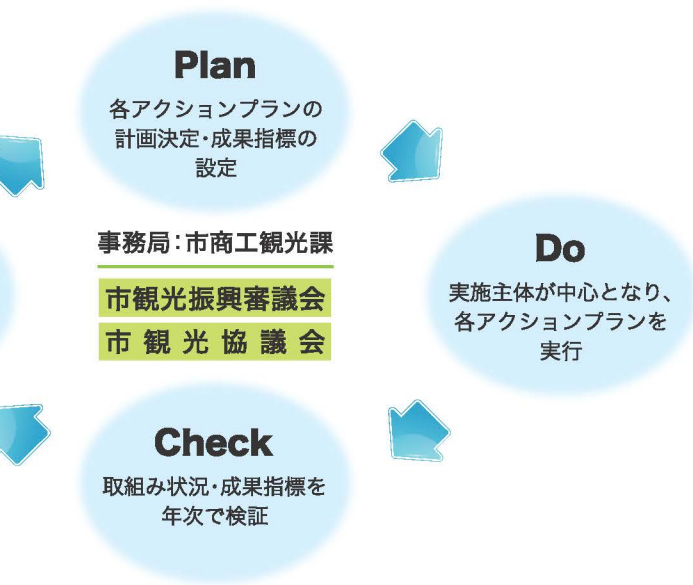
② 旅行者数(観光入込客数等)

項 目	令和元年度 (基準値)	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
観光入込客数(人回)	1,879千	1,700千	1,850千	2,000千	2,200千	2,400千
延べ宿泊客数(人回)	514千	400千	450千	520千	560千	600千
外国人観光客入込数(人回)	129,476	20,000	70,000	130,000	180,000	220,000
教育旅行者数(人回)	24,529	15,000	18,000	22,000	26,000	28,000
スポーツ関係宿泊数(人)	16,374	16,000	17,000	18,000	20,000	22,000

③ リピーター率・再訪意向

項 目	令和元年度 (基準値)	3年度 12月～4年6月	5年度	6年度	7年度	8年度
リピーター率	日本人	—	83%	82%	81%	80%
	外国人	55%	—	55%	57%	58%
再 訪 意 向 (7点満点※)	日本人	—	6.54	6.55	6.56	6.58
	外国人	5.82	—	5.9	6.1	6.3

※ 7点＝強く再訪したいと思う／6点＝再訪したいと思う／5点＝やや再訪したいと思う／4点＝どちらでもない／3点＝やや再訪したくない／2点＝再訪したくない／1点＝強く再訪したいと思わない



④ 来訪者満足度

項 目	令和元年度 (基準値)	3年度 12月～4年6月	5年度	6年度	7年度	8年度
総合満足度 (7点満点※)	日本人	—	6.24	6.25	6.26	6.28
	外国人	6.1	—	6.15	6.2	6.4

※ 7点＝とても満足／6点＝満足／5点＝やや満足／4点＝どちらでもない／3点＝やや不満／2点＝不満／1点＝とても不満

⑤ 観光資源に対する認知率(市民)

持続可能な観光地域づくりを目指すうえで重要となる、市民の観光に対する関心の向上を目指し、観光の取組みに対する認知度の向上を図ります。

⑥ 観光への関与意向(市民)

地域の方々の観光に対する認知、関心向上だけでなく、人材育成も重要な観点となります。市民一人ひとりが気軽に観光に携われる環境、仕組みづくりを目指します。

八幡平市観光振興計画

令和4年度～令和8年度

発 行 令和4年

改 定 令和5年6月

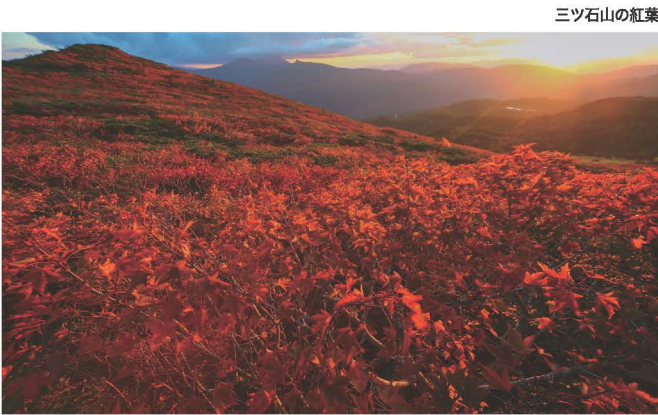
発行者 八幡平市商工観光課

〒028-7392 岩手県八幡平市野駄第21地割170番地

TEL：0195-74-2111 FAX：0195-74-2102

メール：shokanka@city.hachimantai.lg.jp

URL：https://www.city.hachimantai.lg.jp/soshiki/shokanka/



三ツ石山の紅葉

第4期 八幡平市観光振興計画

概要版 令和5年6月改定

計画の位置づけ

本計画は、市政運営の最上位計画である「第2次八幡平市総合計画後期基本計画」に掲げる「おもてなしの観光による交流人口の増加」の実現に向けた実施計画として位置付けるものです。

第2次八幡平市総合計画後期基本計画

【施 策】▶ おもてなしの観光による交流人口の増加

八幡平市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

【プロジェクト⑩】▶ 観光客おもてなし体制強化プロジェクト

第4期八幡平市観光振興計画

計画期間

本計画の期間は、令和4年(2022年)から令和9年(2027年)までの5年間とし、施策によっては10年後の目標設定も行い、中長期的な視点での計画策定を行います。

八幡平市観光の将来像(長期的なビジョン)

日本の美しい四季と暮らし ナショナルパーク八幡平

本計画のテーマ

自然を未来につなぐまち Natural Resort 八幡平

テーマに込めた想い

「Natural Resort」として、「稼げるリゾート」へ

本市の豊かな自然を維持しながら、観光による経済活性化を力強く促進し、自然に恵まれた観光地を「稼げるリゾート」に変えていくことを目指します。

滞在する人にも暮らす人にも心地よい、持続可能な環境を提供

本市は、色鮮やかな風景の中で、日本有数のスノーリゾートや雄大な山々でのアクティビティ、温泉等、豊かな大自然の“静と動”を体感できる観光地です。自然のエネルギーを自分のパワーに変える旅を体験でき、四季折々の美しさの中で、自分の原点に立ち戻り、次の一步を踏み出したくなるような時間を提供します。

市民の誇りにつながる観光地域づくり

本市のさまざまな魅力は、このまちに住む人たちによって紡がれてきたものです。市民自身が本市の魅力を知り、好きになること、市民のより多くの方々にとって観光に関わるさまざまな取組みに関わるきっかけや後押しになることを意識したアクションプランを実施します。

アクションプラン

本計画のテーマを実現、体現するために、次の3つのアクションプランと9つの施策を設定しました。

I.「高めて、広げる」豊かな自然の中で得られる刺激的・洗練された体験の拡充

施策1

外国人観光客の受入促進

1-1 外国人観光客の受入促進

外国人観光客にとってのアスティネーション(旅の目的地)形成に向けた受入基盤整備、WEBやSNSほかデジタル技術を活用した海外向け情報発信、海外での商談会、海外インフルエンサーの活用、外国人に対応できる人材の育成等により、アフターコロナの外国人観光客から「選ばれる観光地」を目指します。

施策2

自然を楽しむアドベンチャーの推進

2-1 「すべての人が楽しめる」ナショナルパーク八幡平の環境整備

ナショナルパーク八幡平は、山頂付近の勾配が非常に緩やかで、誰もがアクセスしやすい日本百名山です。これを、誰もが到達できる、ユニバーサルデザインの百名山として捉え、老若男女、年齢や身体的な理由で登山を諦めていた人にも、登山の魅力を提供できる、ユニバーサルツーリズム（すべての人が楽しめるよう創られた旅行）を推進します。

2-2 トレッキングガイドの観光商品・受入基盤整備

トレッキングガイドの利用促進や人材の確保、質の向上を目的に、八幡平山頂エリアのガイド人材の育成、WEBによるガイド予約販売の仕組みを構築し、ツアー造成や販売を実施します。

2-3 アドベンチャーツーリズムの観光商品強化

十和田八幡平国立公園及び周辺エリアにおいては、高単価な客層に対して「自然」、「アクティビティ」、「文化体験」の3要素のうち2つ以上で構成される「アドベンチャーツーリズム」の付加価値の高い観光商品の造成と営業強化を実施します。

施策4

スポーツツーリズムの推進

4-1 スポーツツーリズムの推進

スキー場やサッカー場、ラグビー場等の施設を活用したスポーツツーリズムによる受入を推進します。また、社会人チームの誘致、観光資源との連携による延泊につながる取組みにより経済効果の拡大を狙います。

4-2 サイクルツーリズムの振興

八幡平アスピーテラインや岩手山パノラマライン等、景観に優れたルートを活用し、八幡平ヒルクライム大会の実施や、e-bikeを活用したライドツアーを造成します。また、国内外に八幡平サイクルツーリズムの情報や魅力の発信を行います。



八幡平ドラゴンアイ



八幡沼と高山植物

II.「伝えて、育む」八幡平市の歴史風土や自然環境の魅力発信と持続・発展

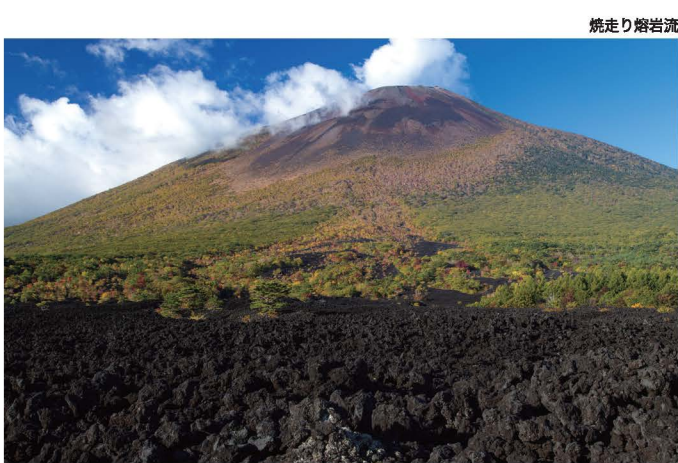
施策5

地熱等の資源からSDGs、サステナビリティを学ぶ

5-1 地熱、松尾鉱山等を活用した教育旅行、企業研修の推進

地熱発電所による地熱資源を活用した農業や地熱蒸気を使った地熱染め、安比高原の中のまきばの野芝の再生活動等、サステナブルな取組みが行われています。

こうした地域資源や松尾鉱山の学びを生かして、教育旅行や企業研修誘致の取組みを推進し、閑散期の集客を目指します。



焼走り熔岩流

III.「つなぐ」八幡平市観光全体を推進する取組み

施策7

豊かな観光資源を次世代につなぐ

7-1 観光資源の保全

貴重な観光資源の喪失を防ぐため、市民や観光関係事業者を中心に、観光資源の維持・保全に係る取組みや民間資金を募るクラウドファンディング等による資金調達を検討します。

また、これまでの活動を支援し、次世代に観光資源を引き継ぐ活動に取り組んでいきます。

施策9

観光推進体制の強化

9-1 観光推進体制の強化

市観光協議会や市観光振興審議会と連携し、計画のPDCAを推進し、進捗状況を評価や検証する体制を強化します。さらに、観光経営人材育成や観光施策財源確保に向けた検討を行います。

また、関係人口、交流人口の増加につながる、ファンコミュニティの仕組みづくりを構築します。

施策8

交通アクセスの拡充

8-1 交通アクセスの拡大・改良

観光需要に配慮したコミュニティバスの利用検討と電気バスやEV車等の導入の推進、自家用有償運送等の新たな移動手段の検討と岩手山サービスエリアのバス停設置を通じ、観光客のアクセス向上を目指します。



安比高原(ブナ二次林)



世界に誇れるパウダースノー